

平成30年9月14日

(事務担当)

生産流通課 生産振興G

担 当：野村、蔭田

(直通) 225-1621

(内線) 4673

平成30年度新嘗祭献穀田御拔穂式にいなめさいけんこくでんおんぬきほしきの開催について

平成30年度の新嘗祭献穀田御拔穂式が下記により開催される。

記

	加 賀 地 区	能 登 地 区
抜穂式日時 会 場	平成30年9月20日(木) 午前10時00分～ 小松市上り江町現地ほ場 (別添地図参照)	平成30年9月26日(水) 午前10時30分～ 輪島市房田町現地ほ場 (別添地図参照)
献穀者氏名	まえさか よしはる 前坂 善治	さかした まさゆき 坂下 正幸
献穀田概要 ほ場面積 品 種	1,568㎡ コシヒカリ	1,909㎡ コシヒカリ
出席者 (予定)	谷 本 知事 福 村 県議 藤 井 県議 八 田 県議 一 川 県議 和 田 小松市長 宮 川 小松市議会議長 西 沢 J A小松市組合長 他	遠 藤 農林水産部長(知事代理) 焼 田 県議会副議長(議長代理) 宮 下 県議 梶 輪島市長 椿 原 輪島市議会議長 藤 田 J Aおおぞら組合長 他
(参 考) 御田植式	平成30年5月25日(金)	平成30年5月25日(金)

## にい なめ さい 新 嘗 祭 に つ い て

### 1. にい なめ さい 新嘗祭とは

新嘗祭とは、11月23日（もと陰暦11月の中の卯の日）に行う宮中行事で、天皇が新米を天地の神に供え、親しくこれを食する祭事

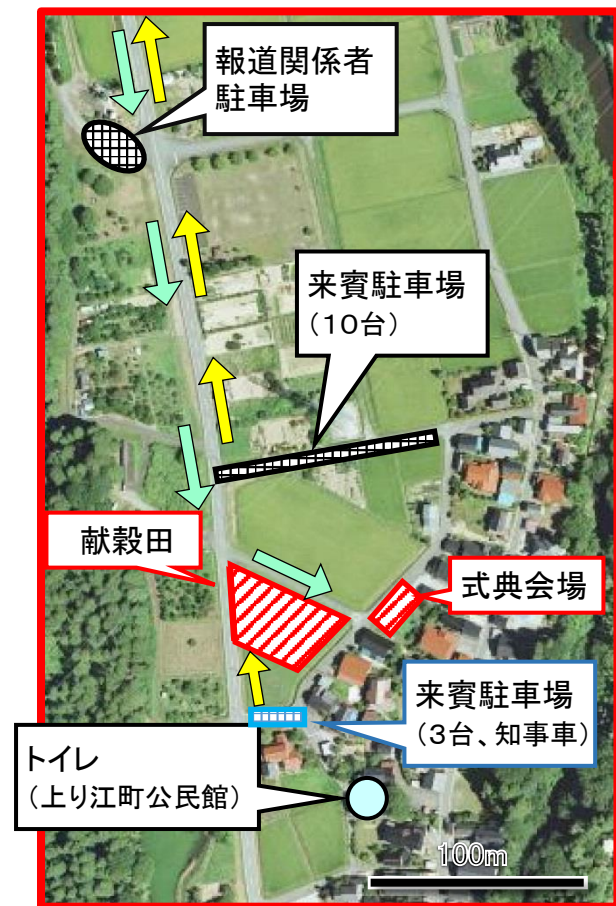
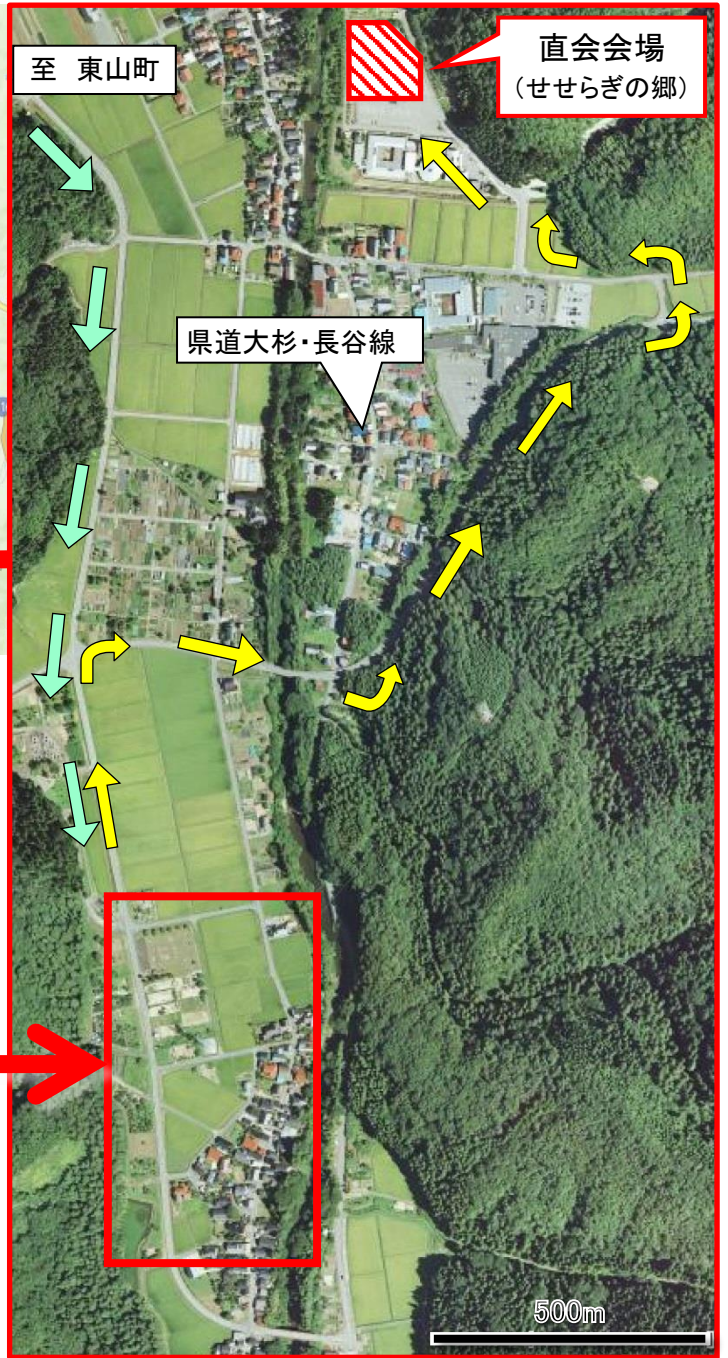
### 2. 新嘗祭はいつ頃から行われているか

- (1) 毎年実施されるようになったのは、第22代清寧天皇（西暦480年頃）と言われている。（今上天皇125代）
- (2) 明治以前は、山城の国宇治の御領地で生産された米で実施されていた。
- (3) 明治初期から明治24年までは、全国の御領地で生産された米で実施されていた。
- (4) 全国の知事からの請願により、明治25年から各県で生産された米で実施されている。
- (5) 昭和21年に農林省監督が廃止され、現在の宮内庁での対応となった。

### 3. 献穀米の献納について

- (1) 皇居において、献穀献納式が10月下旬に執り行われる。
- (2) 皇居賢所で行われる献穀献納式に出席できるのは献穀者夫妻と各市町代表者及び作柄奏上者とその随行者
- (3) 全国各都道府県よりの献穀内容は、
  - 精米のみ2ヶ所の県…石川県、北海道、福島県（3県）
  - 精米のみ1ヶ所の県…富山県、愛知県、大阪府、沖縄県等（18県）
  - 精米と精粟各1ヶ所の県…新潟県、福井県、東京都、京都府等（26県）※ 県数は、平成29年度
- (4) 献納する量は、精米は1升、精粟は5合が原則であるが、石川県は精米を2カ所なので献穀者一人5合ずつ（合計1升）である。

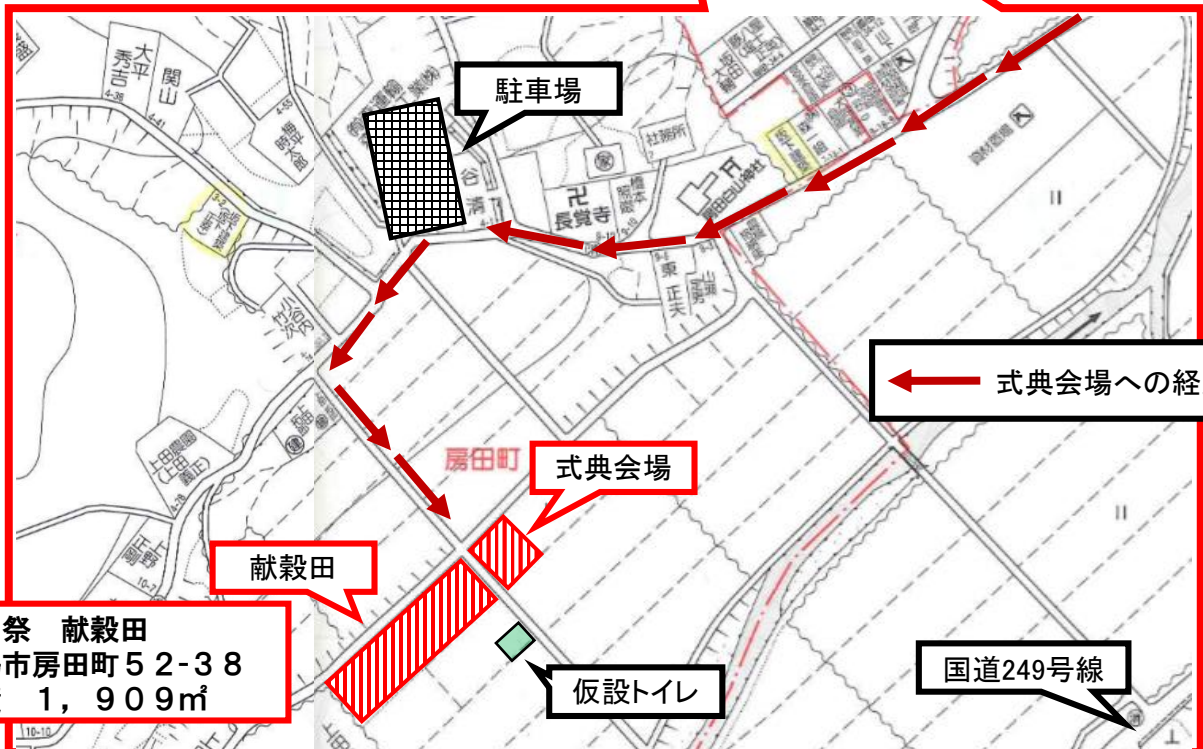
# 加賀地区 献穀田御拔穂式会場(小松市上り江町)



- 式典会場へ
- 式典会場から直会会場へ

**新嘗祭 献穀田**  
 小松市上り江町ろ42番地  
 面積 1,568㎡

# 能登地区 献穀田御拔穂式会場(輪島市房田町)



**新嘗祭 献穀田**  
 輪島市房田町52-38  
 面積 1,909㎡